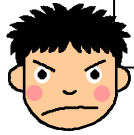



< 特別支援教育とは・・・ >

文部科学省が2002年に全国の公立小中学校を対象に行った実態調査で、通常の学級の中に、「知的な発達に遅れはないもの、学習面や行動面で著しい困難をもつ」と担任教師が判断した児童・生徒が、全体の約6.3%いると報告されています。

これは、40人学級で2～3人、30人学級なら2人、特別な支援必要とする児童・生徒がいることを示しています。

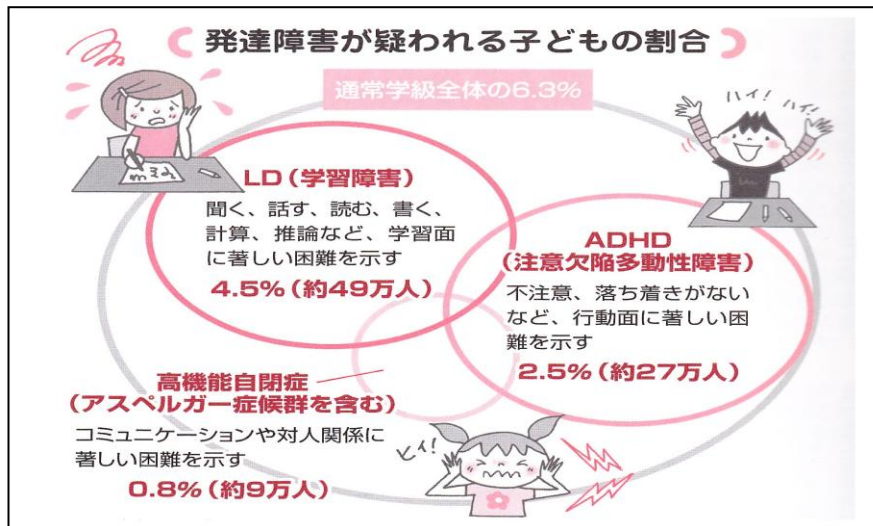


- 授業中そわそわと落ち着きがなく、先生の話に集中できない子
- すぐにカッとなって友だちとトラブルを起こしてしまう子
- がんばって練習しているのに漢字が書けない子
- 自分の考えをうまく話せなくて仲間はずれにされてしまう子



このような「困った行動」や「学習のつまずき」は、当人の努力や親のしつけ、家庭環境などが影響して起こるものではなく、脳の一部の機能が年齢相応に発達していないことが原因であることが明らかになっています。

このように脳の機能が関与して出現する障がいを、「発達障がい」と呼んでいます。



< 発達障がいの種類と特徴・特性 >

発達障がいには、LD, AD/HD, 自閉症などがあります。

LD (学習障がい)

聞く、話す、読む、書く、計算する、推論する、などの基本的な学習能力のうち、一つか二つ以上の能力を習得することが困難な状態。基本的に、知的な遅れはない。

AD/HD (注意欠陥多動性障がい)

気が散りやすく忘れっぽい (不注意), 落ち着きがなくじっとしてられない (多動), 自分の気持ちをコントロールしにくい (衝動性) などの状態がみられる。

不注意が目立つタイプ, 多動・衝動性が目立つタイプ, 両方が混在するタイプに分かれる。基本的に、知的な遅れはない。

自閉症

対人関係の難しさ (社会性の障がい), ことばやコミュニケーションの発達の遅れ, 特定のもののへのこだわりの強さの3つの特徴をもつ。

自閉症全体の7～8割は知的な遅れをとともうが, 残りの2～3割は遅れがなく「高機能自閉症」と呼ばれる。

高機能自閉症の特徴を示しながらことばの遅れがないものを「アスペルガー症候群」という。